

坂を舞台とした流行歌の歌詞にみる都市の空間イメージ

奥山研究室 15_13575 松山 紫帆 (MATSUYAMA,Shiho)

1. 序 流行歌は歌詞と旋律が一体となって人間の心情や都市生活が表現されたものであり、都市空間のイメージ形成に寄与するものと考えられる。なかでも坂は、坂の多い日本の原初的な風景イメージや人間の心情が投影されたものとして、流行歌の題材に数多く取り上げられている。その歌詞からは、坂周辺の都市空間や人間の行動を読み取ることができる。そこで本研究では、坂を舞台とした流行歌の歌詞を資料¹⁾とし、情景描写や人間の行動を検討することで、坂周辺の都市空間イメージの一端を明らかにすることを目的とする。

2. 情景単位

2-1. 資料の分類 まず、舞台となる坂が特定されているか否かで資料を整理したところ、場所が特定されないものが多くみられたが、「乃木坂」などの坂名や「長崎」などの地名が示されるものもみられた(表1)。

2-2. 情景単位の抽出 資料とした歌詞からは、図1の分析例のように、情景を読み取ることができる歌詞のまとまり(情景単位)を抽出できる。そのうち、坂との関連がみられた情景単位を分析の対象とした。

2-3. 情景要素の分類 次に、情景単位中の情景に関わる名詞群(情景要素)を抽出し、整理した²⁾。情

景要素は、その性質から、〈場所〉〈もの〉〈ひと〉〈時節〉の4つに分類した³⁾(図2)。

2-4. 坂関連行動 情景単位の中には、坂を登るのように、坂にまつわる行動(坂関連行動)もみられたため、それらを行動の内容とその方向から整理した(図3)。

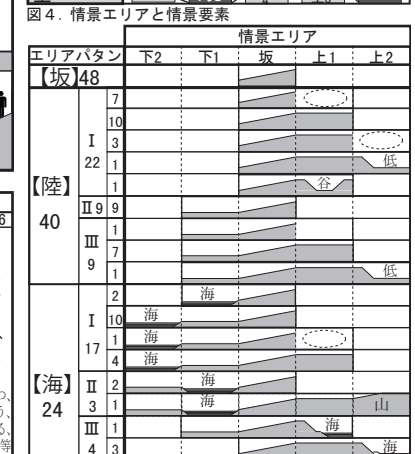
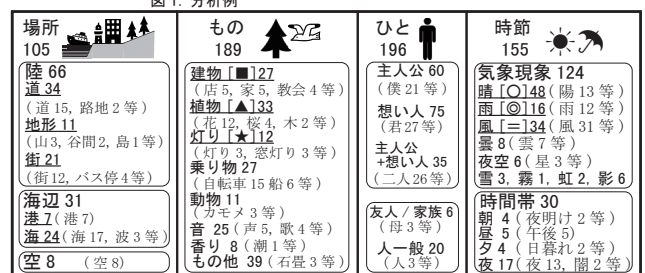
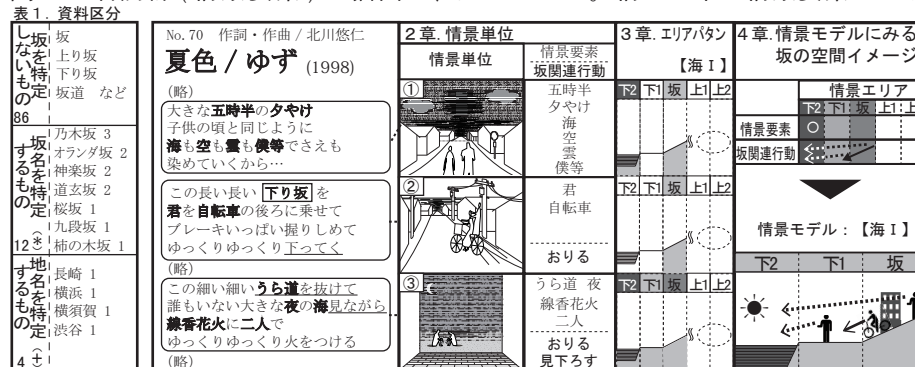
3. エリアパタン

3-1. 情景エリアの分類 前章で検討した情景単位の舞台となる領域について検討した。その結果、情景エリアを、舞台が坂となる領域との関係から[坂][下1][上1][下2][上2]の5つで捉えた(図4)。さらに、前章で検討した〈場所〉との対応関係も合わせて示した。

3-2. エリアパタン 次に、歌詞に描写された情景の領域的広がりを捉えるために、情景エリアの組み合わせ(エリアパタン)を情景エリアに帰属する情景要素および坂関連行動と合わせて検討した。その結果、情景エリアが[坂]のみの【坂】、[坂]以外の情景エリアに情景要素または坂関連行動をもつ【陸】、[坂]以外の情景エリアに海辺をもつ【海】の3つに大別した(図5)。

4. 情景モデルにみる坂の空間イメージ

4-1. エリアパタンにみる坂の空間イメージ 1 資料中の情景要素⁴⁾と坂関連行動を情景エリアごとに整理



し、それらの組み合わせから情景モデルを作成した。さらに、それらをエリアパタンごとに整理することで情景モデルの典型を見出した(図6)。「坂」の情景モデルは、情景要素のない【坂Ⅰ】、天候のみ含む【坂Ⅱ】、建物や植物、灯りを含む【坂Ⅲ】、街を含む【坂Ⅳ】に分類した。【坂Ⅰ】【坂Ⅱ】は情景要素は少ないが多様な行動が描かれる一方、【坂Ⅲ】【坂Ⅳ】は街や植物など都市空間の要素が多く、一般的な行動が豊かに描かれていた。これより、単独で舞台となる坂からは、生活に基づいた日常的な坂の風景イメージを読み取れる。【陸Ⅰ】は晴れが多く、またその大半にのぼる描写がみられた。【陸Ⅱ】は情景要素がみられにくく、坂に沿った移動が多くみられた。【陸Ⅲ】は坂に伴う行動全般がみられた。これより、都市の一部として舞台となる坂からは、坂のもつ動的な空間イメージを読み取ることができる。【海Ⅰ】は多様な情景要素により都市空間が豊かに描写され、海に向かう下方向の行動が、【海Ⅱ】【海Ⅲ】は海に見える高台に向かつてのぼる描写が多くみられた。これより、海とともに舞台となる坂からは、眺望へのアプローチ空間としてのイメージを読み取ることができる。

4-2. 通時的傾向 70年代以前は【海Ⅰ】のように坂が都市と一体となって風景の一部として描かれやすかったが、2000年代以降は【坂Ⅲ・Ⅳ】のように具体的な都市の描写に行動を伴って描かれるものが多くみられた。これは時代とともに、坂が低地と高地を結ぶ道としてだけでなく、生活の拠点となったことによるといえる。

4-3. 坂関連行動にみる坂の空間イメージ さらに坂関連行動における情景モデルの比率を検討すると、見下ろすような特定のモデルに偏る行動と、静止(屋外)とのぼるような全ての情景モデルにみられる行動があった(図7)。前者からは坂の空間と一体となった行動を見出すことができ、後者からは坂における人間の普遍的生活が見出せる。

5. 結 坂を舞台とした流行歌の歌詞を資料に、歌詞中から読み取れる情景を検討することで、坂周辺の都市空間のイメージを探った。坂はその舞台設定により多様なイメージが描写され、そのことは坂が人間生活の舞台の一部として都市の風景を豊かにしている。

- 註1) 資料とした坂の描写を含む流行歌は、1946年～67年は新版日本流行歌史より主なものを、68年～2018年はオリコン年鑑より年間売上上位100位以上のものを中心に資料選定を行い、120曲のうち、単一の坂とその周辺の都市環境の描写のある112曲を対象資料とした。
- 2) 坂の描写は全ての資料に含まれるため、「坂」以外の名詞を情景単位として抽出した。
- 3) 情景要素の中には、情景に関連のある栄光や愛といった抽象的な名詞も7要素抽出した。
- 4) 都市空間イメージの形成に特に影響を及ぼすと思われる街や植物、天候などにのみ着目した。

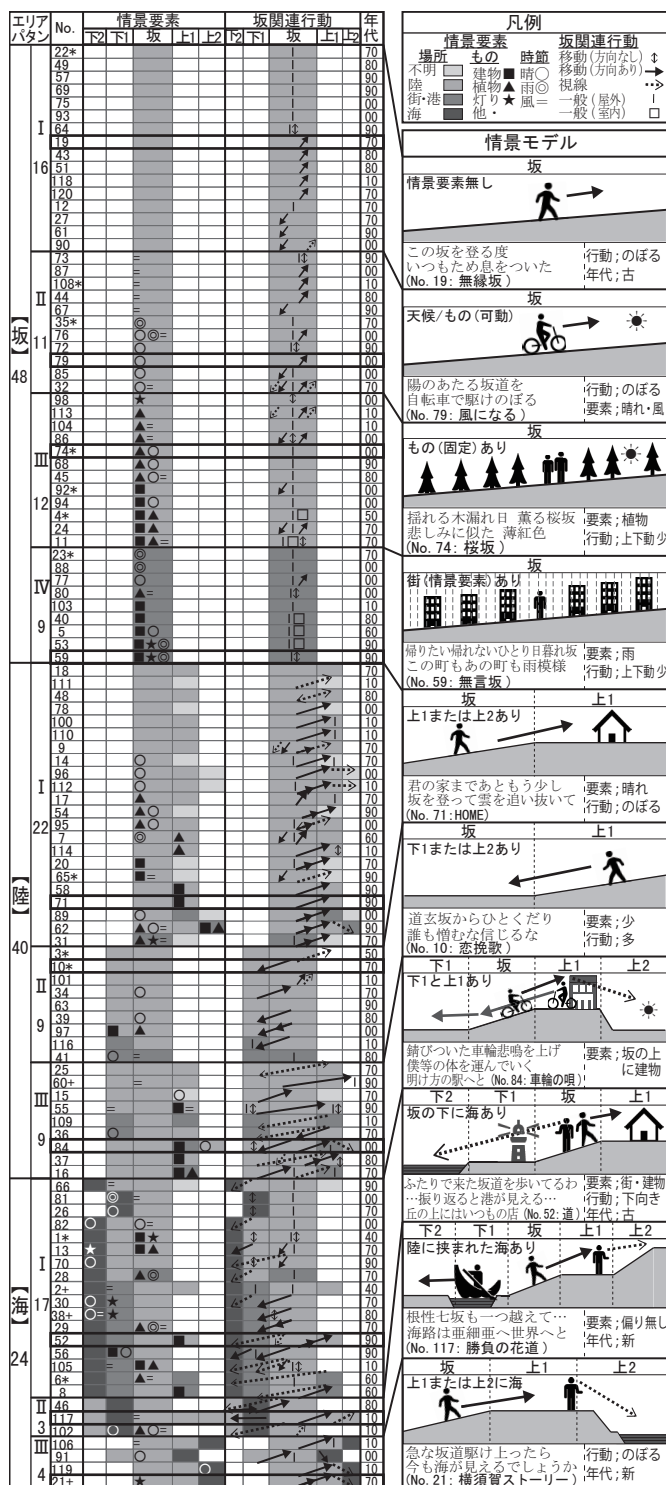


図6. 情景モデルの分類

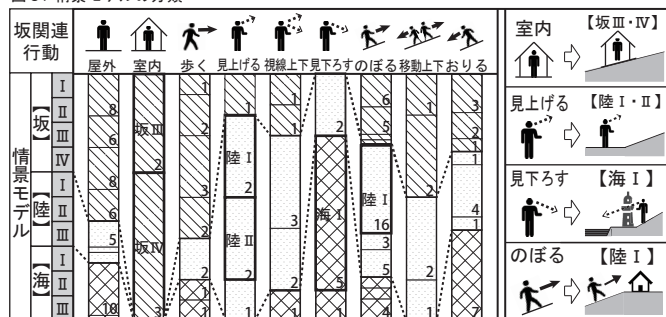


図7. 坂関連行動と情景モデル